

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立美原西中学校
校長 小原 聡

中学校区におけるめざす子ども像 【強みを見つけてコツコツと、楽しく学び、自ら学ぶ子ども】 【学ぶことの楽しさを知り、自ら探求する子ども】

令和7年度 重点目標 □[強みを見つけてコツコツと、楽しく学び、自ら学ぶ西中生]自らを律し、自ら学び続ける子 【時を守り、場を清め、礼を正す】社会の基本的な行動を意識し、静謐な教育環境をつくる。
◇具体的な取り組みとして、以下を実施する：①教師は生徒の強みを発見し、それを育成するとともに、学びと活躍の機会を提供する。②学ぶことの楽しさを伝え、魅力的な授業を通して生徒が学びに喜びを見出すよう努力する。③教師と生徒は、社会の模範となる行動を心掛け、学習しやすい環境を維持する。④「L-Project」を意識して実行することで学びの意欲を向上させ、最終的に学力向上を図る。このプロジェクトでは「教師が好き、教科が好き、学ぶことが好き、繋がりが好き」という要素を重視する。これら取り組みを踏まえ、『学力向上』と『静謐な学習環境整備』を推進し、更なる学校力向上と次元上昇を目指す。

<p>「確かな学び」の現状 今まで進めてきた研修の成果が徐々に実を結び、生徒の授業に対する肯定的な意見が増えてきている。また、ICT 機器の利活用機会も充実し、よりスムーズに授業に取り入れられるようになった。一方で、各種統一テストの正答率は依然として十分とは言えない。授業への関心は高められつつあるが、確かな学力として定着していない部分がある。積極的に取り組みたい授業づくりと併せて、課題設定に工夫を凝らし、家庭学習の習慣も定着させる必要がある。ICT 機器が当然の学習手段として選択肢に入るような普段の指導を心掛け、生徒たちはいつ如何なるときにおいても自由に自分らしく学習できる環境作りを支援する。</p>	<p>「豊かな心・健やかな体」の現状 教育活動全体を通じて、多様性を認め合い、自らの人権を尊重されていることを実感できるような学校教育を推進してきた。公的な複数のテストで実施されたアンケートでは、「自己肯定感」や「他人を思いやる心」についての肯定的な回答が多く見られた。しかし、一方で「将来の夢や目標」に関する質問では、認識が低い結果が出た。これは、生徒たちが自己肯定感を持っているものの、それを具体的な目標や夢に結びつけることができていないことを示唆している。この点に基づき、さらに充実したキャリア教育の提供が必要であると考え、全国体力・運動能力・運動習慣調査で、全国平均を下回る結果となった。さらに、運動系部活動に参加している生徒の割合も全国平均を大幅に下回っている。この問題に対処するため、体育授業、食育、およびみんく教育に新たな工夫を加え、生徒の心の充実と健やかな体の向上を目指す。</p>
---	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～10月)	達成状況 (年度末)	
								自己評価	学校関係者評価
確かな学び	【学習リズム】	学ぶことを楽しみ、自ら学ぶ子供の育成	●個別最適化された学びの場を提供し、生徒が学ぶスタイルを選択できるようにする。そのために、ICT 機器を自然と選択肢に入れられるように普段の教育活動において使用機会を多く取り入れていく。	「学校で、自分の考えをまとめ、発表する場面で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使っていますか」の質問項目への肯定的な回答が70%を超える。	①学校アンケート ②授業の様子	①3学期 ②通年			
		子どもが自ら学びを進めたい授業・単元内の問いや課題設定の研究	●問いづくりや課題設定の研究に重きを置き、実践・共有・討議を重ねる。	各統一アンケートの項目を参考に、子どもたちの記述を分析する。	各種アンケート	通年			
			●研究授業の指導案を複数のメンバーで練り上げ、授業をひとつずつではなく、単元で捉える感覚を身につける。	授業参観及び研究授業において単元を見通した指導案を作り、共有する。	実践共有	通年			
			●職員会議ごとに実践共有の場を作り、教職員同士の対話をもとに授業改善を図る。	月に1度のペースで、他の教員の「単元の作り方・考え方」について触れる機会を持つ。	実践共有	通年			
		★小学校での学び方を中学校の教員が理解し、目指す子ども像に向かっているかを見直す機会を持つ。	小・中連携の活動日において、研修後のアンケートを取り、記述を分析する。	研修後アンケート	通年				
豊かな心・健やかな体	【心リズム】	■「優しさ」と「厳しさ」の中での信頼関係づくり。(優厳実行)	●「優厳実行」を意識し、「かかわり貯金」の中で生徒の「強み」を見つけ、活躍の場をプロデュースする。	「良いところがある」「得意なことをしている」「学校が楽しい」と肯定的に回答する割合が75%を超える。	IRT 調査等	3学期			
		■人権尊重の精神を育てる。	●すべての行動、言動において人権意識・道徳意識をもって取り組む。	「友達を傷つけないようにする」「道徳の授業は大切だとおもう」と肯定的に回答する割合が75%を超える。	学校教育自己診断 IRT 調査等	3学期			
		■えがおあふれる学びの場づくり	●★いじめアンケート結果をその都度いじめ防止対策委員会』で共有し、防止と対策をする。	「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思うか」の問いに肯定的な回答が100%になる。	全国学力・学習調査等	3学期			
豊かな心・健やかな体	【生活リズム】	■学びに向かう意欲と計画性を兼ね備えた生徒の育成	・現状を知ること、向かうべき場所(なりたい姿)を想像させる。 ●★自身の現状を正しく知り、次の課題を設定できる。	・「総合的な学習で自分の興味・関心から学習内容を自分でできているか」と肯定的な回答が70%を超える。 ・「以前の自分よりも「学習」に前向きに取り組んでいるか」における肯定的な回答が70%を超える。	学校独自のアンケート IRT 調査等 見取り	3学期 3学期 通年			
		■時を守り、場を清め、礼を正す	●★授業前着席の習慣化 ・そうじ・整理整頓ができて静謐な環境作り。 ・返事・挨拶・感謝の気持ちの発声の促進。	「時間を守りバリエーションができて」「そうじをしっかりとできて」「基本的なマナーが身につけている」と肯定的な回答が75%を超える。	IRT 調査等 見取り	3学期 通年			
地域協働	【信頼リズム】	■見える学校から 見せる学校へ	・教育活動などの学校情報を通信やHP・Tetoru 等で情報提供を行う。→「見せる」 ・PTAの役員・委員・西中応援会と連携しながら各行事・地域活動を行う。	・「学校から届く情報は、学校の様子を知らせるのに役に立っている」と肯定的に回答する割合が75%を超える。	学校教育自己診断	3学期			